

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

平成27年度 事業報告書

1. 公益社団法人としての事業推進

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会として、重症心身障害児者の福祉の向上に関する事業を行い、その家庭の福祉の増進に寄与することを目的として、公益事業を始めとした各事業の推進を図った。

さらに、重症心身障害児者に対する新たな福祉ニーズへの対応が求められていることから、施設利用者、在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する支援の充実を一層推進した。

この目的に沿った事業展開の充実を図るため、公益社団法人として事務局サポート体制などの機能強化を行い医療問題や福祉問題等の課題への組織的な対応を行った。

2. 諸会議の開催

当協会の事業について、重要案件を審議し執行するため、次の会議を開催した。

(1) 総会（定時総会）

平成27年5月14日（木） 新潟県湯沢町

(2) 理事会

平成27年度は5回開催した。

- | | | |
|-----|----------------|--------|
| 第1回 | 平成27年4月23日（木） | 東京都 |
| 第2回 | 平成27年5月14日（木） | 新潟県湯沢町 |
| 第3回 | 平成27年5月27日（水） | 書面理事会 |
| 第4回 | 平成27年10月12日（月） | 東京都 |
| 第5回 | 平成28年3月16日（水） | 東京都 |

(2) 医療問題検討委員会

平成27年10月11日（日） 東京都

(3) 福祉問題検討委員会

入所支援部会、在宅支援部会、実態調査部会 合同部会

平成27年10月11日（日） 東京都

(4) 学術委員会

- | | | |
|-----|---------------|--------|
| 第1回 | 平成27年5月16日（土） | 新潟県湯沢町 |
| 第2回 | 平成27年7月12日（日） | 東京都 |
| 第3回 | 平成27年10月2日（金） | 東京都多摩市 |

(5) 人材育成・研修委員会

専門看護師部会

第1回 平成27年5月14日（木） 新潟県湯沢町

第2回 平成27年10月1日（木） 東京都多摩市

第3回 平成27年10月2日（金） 東京都多摩市

(6) 特別委員会

平成28年2月22日（月） 東京都

3. 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会等の開催

①全国施設協議会

全国施設協議会を厚生労働省、新潟県等の後援を得て平成27年5月15日（金）、16日（土）の2日間、新潟県湯沢町において開催した。

本会議は、全国の重症心身障害児者施設の長、事務（局・部）長及び総看護師長等が参加し、重症心身障害児者の療育に関する調査研究並びに施設の運営上の諸問題及び従事職員の研修等について協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催しており、全国123の重症心身障害児者施設から、施設長、事務（局・部）長、総看護師長並びに行政機関の担当者計360名が参加した。

第1日目は、厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 障害福祉専門官 田中真衣氏による「障害児支援」についての行政説明、埼玉医科大学総合医療センター・小児科教授 田村正徳氏による「POST—NICU重症児の在宅医療連携」と題しての特別講演及び「施設から在宅への流れの中で重症心身障害児者移設の現状と今後の展望」というテーマでのシンポジウムが行われた。

第2日目は、当協会各委員会からの活動報告、東・西日本施設協議会報告、全国重症心身障害日中活動支援協議会報告が行われた。

②東・西日本施設協議会

第42回東日本施設協議会を平成27年11月5日（木）、6日（金）の2日間、東京都港区において開催し、61施設から157名が参加した。

また、第36回西日本施設協議会を平成27年11月19日（木）、20日（金）の2日間、愛媛県松山市において開催し、63施設184名が参加した。

本会議は、東・西日本ブロックにおける重症心身障害児者施設の運営上の諸問題及び重症心身障害児者の療育に関する情報交換等の協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催した。

4. 重症心身障害児者施策への対応

今後の診療報酬及び福祉サービス費報酬改定等に対応するため、当協会としても医療問題検討委員会及び福祉問題検討委員会の連携の下に重症心身障害児者施設における諸課題についての対応及び関係部門に対する要望活動を行った。

また、平成27年度6月には障害者総合支援法の施行後3年目の見直し検討に当

たり、当協会としても社会保障審議会障害者部会に対し「障害福祉サービスの在り方等」についての要望書の提出及び意見の陳述を行った。

5. 全国重症心身障害児者施設職員研修会の実施

重症心身障害児者施設に勤務する職員をはじめとする研修対象者に、次の日程により研修を行い、その資質の向上を図る。

なお、看護師コース、栄養士・調理師コース、医療技術管理コース、保育士・児童指導員等（療育職員）コース及び施設管理研究会コースについては、財団法人JKAの競輪公益資金補助事業として実施した。

(1) 看護師コース

平成27年9月9日(水)～11日(金) 大阪府大阪市 参加者105名

(2) 栄養士・調理師コース

平成27年10月14日(水)～16日(金) 大阪府大阪市 参加者135名

(3) 看護管理研究会コース

平成27年10月28日(水)～30日(金) 岡山県岡山市 参加者127名

(4) 医療技術管理コース

平成27年11月11日(水)～13日(金) 大阪府大阪市 参加者152名

(5) 保育士・児童指導員等（療育職員）コース

平成27年12月9日(水)～11日(金) 大阪府大阪市 参加者120名

(6) 施設管理研究会コース

平成28年1月20日(水)～22日(金) 大阪府大阪市 参加者207名

6. 第26回重症心身障害療育学会学術会議の開催

重症児施設療育研究大会を平成17年度から重症心身障害療育学会に改めて開催している。第26回重症心身障害療育学会学術会議を厚生労働省、東京都、読売光と愛の事業団等の後援を得て、平成27年10月1日(木)、2日(金)の2日間、東京都多摩市において開催し、92題の演題数であった。

また参加者数は2日間で568名であった。

7. 在宅重症心身障害児者の支援者育成事業

平成26年度に開発した在宅重症心身障害児者の支援者を育成するためのプログラムの周知及び活用を図った。

8. 重症心身障害児者施設永年勤続者の表彰

重症心身障害児者施設に勤務する10年以上の永年勤続者を表彰する。

平成27年度の永年勤続表彰者は454名であり、定時総会開催時に行う永年勤続者表彰式で75名の参加者を表彰した。

9. 日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師制度の充実と認定重症心身障害看護師合格者の認定書の授与

平成24年度から重症心身障害看護の質の向上、認知度のアップ、看護師の確保と育成に繋げ、重症心身障害児者とその関係者に適切な看護を提供し、重症心身障害児者のより良い生活・生涯に寄与することを目的として、日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師制度を試行的に実施し認定重症心身障害看護師合格者に認定書を授与してきたところであり、平成27年度からは制度の充実を図るとともに、公益目的事業として本格的に実施することとした。

平成27年度の認定者数は80名であった。

10. 全国重症心身障害児者施設実態調査の実施

本調査は、公法人立の施設の入所児（者）を対象とし、療育の向上に資するため、毎年実施しているが、本年度においては各調査項目等の整理を行い、平成27年4月1日現在等での施設等の実態を調査した。

なお、個人チェックリストについては、調査内容の簡素化を図るとともに調査票集計・管理のためのプログラム開発を行った。

11. 超重症児（者）、準超重症児（者）の実態調査の実施

平成27年度においても、超重症児（者）及び準超重症児（者）の実態調査を若干整理し、例年に準じ実施した。

12. 関係機関及び関係団体との連絡、連携の強化

関係機関との連携を密にして円滑な協会運営を図った。また、関係団体相互の連絡を密にして重症心身障害児者の療育に関する理解を深めて、相互の連携強化を図った。

13. 広報紙の発行

広報紙「重症児とともに」を発行した。